

報道関係各位

2012年1月吉日

国立新美術館

2012年1月21日(土) 国立新美術館開館5周年

国立新美術館は2012年1月21日(土)に開館5周年を迎えます。
1月21日(土)は開催中の全ての展覧会の観覧料が無料となるほか、1月20日(金)~22日(日)は「国立新美術館開館5周年スタート企画」として、美術館をより楽しんで頂けるような企画をご用意しました。2012年は年間を通して、国立新美術館の魅力を再発見していただけるような機会を提供してまいります。

開館5周年シンボルマーク



国立新美術館開館にあたっては、「開かれた新しい美術の場」をコンセプトにシンボルマークをデザインしました。さまざまな企画展やワークショップ、幅広い層に向けたコミュニケーション活動を通して、この5年間でまさに、日本、東京の中心部から、社会に対して新しい美術の場を提供してきた国立新美術館。美術と人、美術と地域との関わりの新しいあり方を提示する存在となったことをとても嬉しく思うと同時に、今後も新たな可能性に向かって進化し続けてほしいという願いを込めて、5周年記念のロゴをデザインしています。

アートディレクター 佐藤可士和



開館5周年スタート企画

1月20日(金)

* オペラコンサート *

日時:1月20日(金) 開演:18:30 (開場:18:00)

会場:1Fロビー 入場無料、予約不要

新国立劇場の協力のもとに開催するオペラコンサートです。オペラのアリアをはじめ、日本や外国の歌曲をお楽しみください。冬の夜の美術館が幻想的な雰囲気に染まります。ぜひご鑑賞ください。

1月21日(土) 開館記念日

* 開催中の全ての展覧会「野田裕示」展「DOMANI・明日展」「第60回記念 独立書展」**観覧料無料!** *

* ご来館いただいた方全員に、5周年シンボルマーク入り特製クリアファイルプレゼント *

※なくなり次第終了いたします

* 絵本と音楽のスペシャルライブ「えほんうた」 *

日時:1月21日(土) 11:30~/16:30~ 各30分

会場:1Fロビー 入場無料、予約不要

出演:和津実(なつみ)

入場無料、予約不要

ミュージシャンの和津実(なつみ)さんが、絵本の読み聞かせと、美しい歌で、すてきな時間をつむぎます。小さなお子さまから大人の方までお楽しみいただけます。美術館には地下1階に授乳室もあり、1階ではベビーカーの貸出も実施していますので、親子でのご参加もお待ちしております。



Photo by みつはしめぐみ

アーティスト: 和津実(なつみ)

2006年バンド mopsy flopsy(2008年 Michiluca と改名)のVo.としてデビュー。3枚のミニアルバムと1枚のシングルを発表。

2010年2~3月に放送されたNHK みんなのうた「天の川」は、ニューヨークフィルムフェスティバル映像部門 銅賞を受賞。

2011年6月にバンド休止後、ソロ活動を始める。

「うた」に「語り」を織り交ぜるなど、独特な世界観を創り出す。

その声はどこまでも自由に、繊細に大胆に、聴く人の心に語りかける。

<http://natsumino.com/>

* 野田裕示 アーティスト・トーク「自作を語る」 *

日時:1月21日(土) 14:00~ 定員:250名(先着順)

会場:3F講堂 聴講無料

開催中の展覧会「野田裕示 絵画のかたち / 絵画の姿」のアーティスト・トークを開催します。箱状の造形、カンヴァスの縫合、色や形、テクスチャーへの意欲的な試み、絵画の新しい可能性を求め、30年に及び様々な模索を続けてきた作家が造形思考をどのように深め、作品化してきたのか、作家本人が自作を語ります。

1月22日(日)

* 佐藤可土和氏による子ども向けワークショップ「デザインって何だろう？」 *

～ 展覧会の印象を色や形にしてみよう! ～

開催中の展覧会の印象をデザインすることに挑戦します。展覧会を見たときのあなたの気持ちや感想は、どんな色や形で表すことができるでしょうか? かたちの無いものや言葉では言い表せないものを、色や形で伝えるコミュニケーションを試みます。

日時: 1月22日(日) 14:00～17:00

講師: 佐藤可土和 氏 (アートディレクター/クリエイティブディレクター)

会場: 別館 3F 多目的ルーム、企画展示室 2E 対象: 小学生(中学年以上) 定員: 20名

事前申込(1月6日必着)、応募多数の場合は抽選
詳しくはHPをご覧ください。



2007年「自分のシンボルマークを作ろう」の佐藤氏ワークショップ風景

* 国立新美術館別館の建築とその時代 - 当館所蔵資料で見る昭和初期の都市モダニズム文化 - *

日時: 1月18日(水)～1月30日(月)

会場: 3F ライブラリー前

国立新美術館では、古く脆弱な美術資料、貴重な美術資料等を、以前ここにあった建物(昭和3年竣工の兵舎)の一部を保存、改装した「別館」の特別資料閲覧コーナーにて、事前予約制で公開しています。

開館5周年を記念し、本館3Fのアートライブラリー前では、モダンな兵舎として知られたこの「別館」の建物を切り口に、「別館」に関する絵はがきや地図などの初公開資料、および「別館」建築当時の美術雑誌や建築雑誌などを展示し、昭和初期の都市モダニズム文化の一端に触れていただきます。



国立新美術館 別館

* カフェ・レストラン *

国立新美術館内カフェ・レストラン 4 店舗にて、1/18(水)～4/2(月) の期間「野田裕示」展 特別メニューをご提供いたします。この機会にぜひお立ち寄りください。



3F ブラッスリー ポール・ボキューズ ミュゼ

2F サロン・ド・テ ロンド

1F カフェ コキーユ

B1F カフェテリア カレ



1F カフェ・コキーユでは「WORK 1422」をイメージした
“バニラ抹茶ラテ” (大¥500 / 小¥380) が登場いたします。

他店舗の特別メニューは後日詳細が明らかに！お楽しみに！

《WORK 1422》2001 年 227.3 × 545.4cm

営業時間	カフェ	B1F・2F	11:00～18:00	金曜は～19:00 (L.O.は 30 分前まで)
		1F	10:00～18:00	金曜は～20:00
	レストラン		11:00～21:00	金曜は～22:00 (L.O.は 90 分前まで)

* ミュージアムショップ *

国立新美術館 B1 にあるミュージアムショップ「スーベニアフロムトーキョー」では、漫画からアートブック、工芸品から若手デザイナーの作品まで、知名度やジャンルにとらわれることなく、東京の視点で新しいデザインやアートをお届けしています。

併設された「SFT ギャラリー」では、年間約 6 組の展示を開催し、アートやデザインに日常的に触れ、楽しむためのきっかけを提供しています。国立新美術館とミュージアムショップ「スーベニアフロムトーキョー」が選んだ若手アーティスト・デザイナーの作品や、購入して持ち帰り身近で楽しむことのできるプロダクトなどを紹介しています。



* 上出長右衛門窯の工場(こうば)展 1月25日～3月26日 *

石川県の伝統工芸、九谷焼の窯元である上出長右衛門窯。この展覧会では、彼らが「こうば」と呼ぶ作業場で、職人の手によって生み出された作品とその制作過程を紹介します。

スペイン人デザイナー、ハイメ・アジョンと作った新しい九谷焼“JAIME HAYON × KUTANI CHOEMON produced by MARUWAKAYA”や、上出長右衛門窯のオリジナル製品、転写シールのシリーズ KUTANI SEAL を中心に展示します。

会場：国立新美術館 B1 SFT ギャラリー(スーベニアフロムトーキョー内)

営業時間 10:00～18:00 金曜は～20:00

SFT
GALLERY

ホームページ <http://www.nact.jp>
 5 周年特設ウェブサイト http://www.nact.jp/5th_anniversary/



<http://www.facebook.com/nact.jp>
 @NACT_PR 5 周年に関する情報を中心につぶやきます。

本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先

国立新美術館 広報担当：滝沢・石松・窪田

TEL:03-6812-9925 (平日 10:00-17:00) FAX:03-3405-2532 E-MAIL: pr@nact.jp

国立新美術館の5年間のあゆみ

2007年1月21日に開館して以来、国立新美術館は「展覧会の開催」「美術に関する情報や資料の収集・公開・提供」「教育普及活動」の3つを柱に活動を続けてきました。

展覧会の開催

国内最大級の展示スペース(14,000㎡)を生かした話題の展覧会を多く開催し、これまでに約1300万人の展覧会入場者(2011年12月31日現在)をお迎えしました。

◆主な企画展

- ・「国立新美術館開館記念展 20世紀美術探検－アーティストたちの三つの冒険物語－」(2007)
- ・「スキン+ボーンズ－1980年代以降の建築とファッション」(2007)
- ・「エミリー・ウングワレー展－アボリジニが生んだ天才画家－」(2008)
- ・「アヴァンギャルド・チャイナ－〈中国当代美術〉二十年－」(2008)
- ・「THE ハプスブルク」(2009)
- ・「オルセー美術館展 2010－ポスト印象派」(2010)
- ・「アーティスト・ファイル」展(2008,2009,2010,2011)

◆公募展

公募展等の会場として全国的な活動を行っている美術団体に発表の場を提供しています。

※年度別入場者数

平成19年度	1,317,508人	平成20年度	1,309,747人
平成21年度	1,246,840人	平成22年度	1,266,989人

◆その他

毎年、文化庁主催の「文化庁メディア芸術祭」「DOMANI・明日展」の会場となり多くのお客様にご来館頂いています。



「アーティスト・ファイル 2011」 鬼頭健吾 展示風景

美術に関する情報や資料の収集・公開・提供

<参考資料>

当館は、作品を収集しない代わりに美術に関する資料や情報を収集し公開する、新しいタイプの美術館です。その意味で、情報資料室が担っている仕事は、当館の「顔」ともいふべき重要なものだと信じ、がんばってきました。

最初の3年間は、まさに無我夢中。開館当初は、多い時は1日1,000人を超えるお客様がアートライブラリーに来られ、対応におおわらわしたり、当館の資料コレクションの核である展覧会カタログを充実させるため、全国の美術館・博物館に過去開催された展覧会のカタログの寄贈をお願いしたりで、あっという間に過ぎてしまいました。

おかげさまで展覧会カタログの所蔵数は日本一となり(約8万点)、リピーターとしてアートライブラリーを利用してくださる方は増えました。活動が軌道に乗り始めた昨年からは、アートライブラリー内で貴重資料のケース展示を行ったり、資料担当職員のお薦め本のコーナーを設けたり、資料に関連する講演会を開催したりと、積極的な情報発信も始めています。

今後はカタログだけでなく、DMや目録、写真など展覧会に関連する他の資料の収集・公開にも力を入れ、一般のお客様だけでなく専門家にも一目置かれるコレクション作りを目指します。

(情報資料室長 平井章一)



3階 アートライブラリー



別館1階 特別資料閲覧コーナー

教育普及活動

国立新美術館では、来館者の作品鑑賞の充実を目的に多彩なプログラムを実施してきました。展覧会に合わせた講演会やアーティスト・トーク、シンポジウムのほか、クリスト&ジャンヌ=クロードやクリスチャン・ボルタンスキーらを招いた講演会は、現代美術の巨匠の芸術に直に触れる貴重な機会となりました。毎年発行している鑑賞ガイド「アートのとびら」や「小さなアーティスト・ファイル」も、現代美術を分かり易く読み解くツールとして、毎回好評をいただいています。

一方、幅広い視点から「木」や「森」について考えた「森から始まるリレートーク：暮らし、環境、デザイン、そしてアートと『木』」をはじめ、従来の美術の枠を超えた多様なプログラムも開催してきました。美術だけでなく、ファッションやデザインなど様々な分野で活躍するアーティストを講師に招いたワークショップも開館以来30回以上を重ね、5周年を機に記録集も発行されます。

来館者を対象としたプログラムのほか、美術館活動の理解の促進や人材育成を図る試みも継続しています。美術館が開館した2006年度以来、45名のインターンを受け入れたほか、ボランティアとして活動する大学生・大学院生のサポート・スタッフの延べ登録数は400名以上に達しました。

(教育普及室長 西野華子)



<参考資料>

企画展一覧

※入場者数は国立新美術館によるもので、共催各社の発表する数字と異なる場合があります。

年	展覧会	会期	入場者数
2007	国立新美術館開館記念展 20世紀美術探検—アーティストたちの三つの冒険物語—	1/21～3/19	89,475
	黒川紀章展—機械の時代から生命の時代へ	1/21～3/19	166,793
	文化庁メディア芸術祭 10周年企画展 日本の表現力 アートとエンターテインメントの融合と進化	1/21～2/4	52,093
	異邦人(エトランジェ)たちのパリ 1900—2005 ポンピドー・センター所蔵作品展	2/7～5/7	315,266
	国立新美術館開館記念 大回顧展モネ 印象派の巨匠、その遺産	4/7～7/2	704,420
	スキン+ボーンズ—1980年代以降の建築とファッション	6/6～8/13	60,056
	日展 100年 一目でわかる!日本の美術この100年	7/25～9/3	135,486
	安齊重男の“私・写・録 (パーソナル・フォト・アーカイブス)” 1970-2006	9/5～10/22	15,895
	国立新美術館開館記念 アムステルダム国立美術館所蔵 フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展	9/26～12/17	493,886
	文化庁芸術家在外研修制度40周年記念「旅」展—異文化との出会い、そして対話—	12/15～1/28	18,772
2008	没後 50年 横山大観—新たなる伝説へ	1/23～3/3	223,671
	第11回 文化庁メディア芸術祭	2/6～2/17	40,553
	アーティスト・ファイル 2008—現代の作家たち	3/5～5/6	29,823
	モディリアーニ展	3/26～6/9	260,117
	エミリー・ウングワレー展—アボリジニが生んだ天才画家—	5/28～7/28	100,221
	ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密	7/2～9/15	132,403
	アヴァンギャルド・チャイナ—〈中国当代美術〉二十年—	8/20～10/20	18,570
	巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡	10/4～12/14	312,390
	未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2008 文化庁芸術家在外研修の成果	12/13～1/26	14,985
	2009	加山又造展	1/21～3/2
第12回 文化庁メディア芸術祭		2/4～2/15	51,505
アーティスト・ファイル 2009—現代の作家たち		3/4～5/6	37,426
ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち		3/25～6/1	221,892
野村仁 変化する相—時・場・身体		5/27～7/27	14,037
生誕 150年 ルネ・ラリック華やぎのジュエリーから煌きのガラスへ		6/24～9/7	120,990
光 松本陽子/野口里佳		8/19～10/19	20,188
THE ハプスブルク		9/25～12/14	390,219
未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2009 文化庁芸術家在外研修の成果		12/12～1/24	14,037
2010		ルノワール—伝統と革新	1/20～4/5
	第13回 文化庁メディア芸術祭	2/3～2/14	58,242
	アーティスト・ファイル 2010—現代の作家たち	3/3～5/5	33,866
	ルーシー・リー展	4/28～6/21	113,584
	オルセー美術館展 2010「ポスト印象派」	5/26～8/16	777,551
	マン・レイ展 知られざる創作の秘密	7/14～9/13	75,124
	陰影礼讃—国立美術館コレクションによる	9/8～10/18	29,143
	没後 120年 ゴッホ展—こうして私はゴッホになった—	10/1～12/20	595,346
	未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2010 文化庁芸術家在外研修の成果	12/11～1/23	15,881
	2011	第14回 文化庁メディア芸術祭	2/2～2/13
シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥーセンター所蔵作品による—		2/9～5/15	189,971
アーティスト・ファイル 2011—現代の作家たち		3/16～6/6	21,114
ワシントン・ナショナル・ギャラリー展 印象派・ポスト印象派 奇跡のコレクション		6/8～9/5	380,304
モダン・アート, アメリカン—珠玉のフィリップス・コレクション		9/28～12/12	88,853